





ます。西海岸は海水浴場であって夏 ぶつばきがたくさんあり観賞地でも は観光客でにぎわいます。自生のや あります。 で、玄海国定公園の区域に入ってい 福島の北端初崎はみごとな自然林

#### 「米どころ 土谷白米の 名もゆかし」



いて日照が豊かで水がかりもよいた土谷は土地が肥えていて西南に向 いしいといわれています。 め、土谷の米は福島の中でも特にお

さわしい地名です。 地名があります。米どころ土谷にふ その土谷の小字に「白米」という



#### てんしょう



鍋

悲壮な最後をとげまし



市報まつうら 平成22年8月号

# 福島の素晴らしさを

どんなことをうたい込むかは原案と たいという思いがありました。 名勝、郷土芸能を後世に残していき かったんです。 もう一つは、旧跡や もらうことで福島の観光を広めた ですね。「いろはかるた」を利用して を作ろうと思った出発点はそこでし 知ってもらいたい。「いろはかるた」 して持っていました。ただ、どこを た。福島大橋が開通し、観光PRの 助になればという思いが強かった もともと俳句が好きでしたので、 福島には、 この素晴らしさを多くの人に 風物、郷土芸能などがありま 多くの素晴らしい名勝

る時には少し時間をかけましたね。にほへと…という頭文字に当てはめ取り上げるかということと、いろは

### は変わらないでしょうふるさとを愛する気持ち

「いろはかるた」ができてから約3年年が経とうとしています。この30年年が経とうとしています。この30年んなに変化しても、そこに住んでいる人がふるさとを愛する心はいつまる人がふるさとを愛する心はいるお

これとして昔の物語として残っていけばうれしいですね。 およりない部分もありますが、これは ないない。

#### かるたことばを作った **小川 吉弘さん** (福島・播磨釜、87)

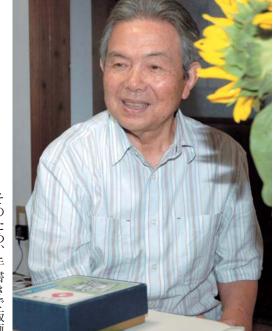
# 福島に愛着があったから

「いろはかるた」の内容が、

にな。 より身近に感じるところがありまししみとつながりを持っていました。

ところです。福島町は、文化的にも住んでいるかるた」のお話をいただき共感したいるた」のお話をいただき共感したいろった。

も忙しい日々を過ごしていました。考えていましたが、そのころはとてるた」も1枚1枚紙版画にしようとでよく作っていました。「いろはかかみがありますので、以前から好きがみがありますので、以前から好きが、



絵札を描いた

<sup>妊菌いた</sup> 坂口 **覚**さん (今福・人柱、80)

さが出るよう心掛けました。図やコントラストを考え、版画らしすべてを回りスケッチしました。構とにしました。かるたことばを基に、

### 大事にしてもらい、

現在、福島小学校が、ふるさとを知るための授業で「いろはかるた」 学校の校長時代に中学生だった方から「子どもが、「いろはかるた」を研究している」という話を聞き、「いろはかるた」が生きているんだなと感じました。30年近く経ってからこんなに大事にしてくれていることは、なに大事にしてくれていることは、なに大事にしてくれていることですね。